

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和7年9月1日発送
令和7年9月16日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 382 企業(回答率 12.7%)

※ 当期:R07年7月～9月実績見込
次期:R07年10月～12月期予測

【DI値について】

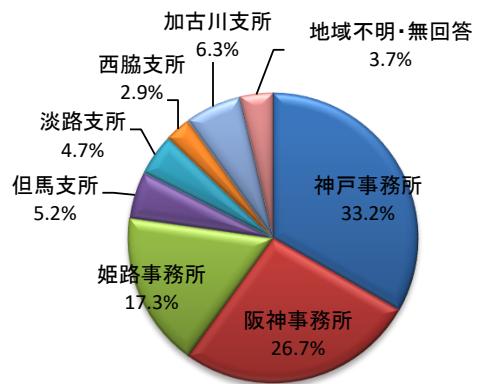
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」「好転」等の項目割合から「減少」「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

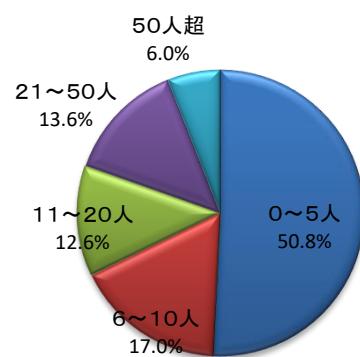
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	127	33.2%
阪神事務所	102	26.7%
姫路事務所	66	17.3%
但馬支所	20	5.2%
淡路支所	18	4.7%
西脇支所	11	2.9%
加古川支所	24	6.3%
地域不明・無回答	14	3.7%
合計	382	100.0%



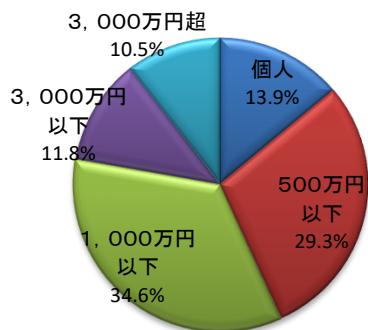
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	194	50.8%
6～10人	65	17.0%
11～20人	48	12.6%
21～50人	52	13.6%
50人超	23	6.0%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%



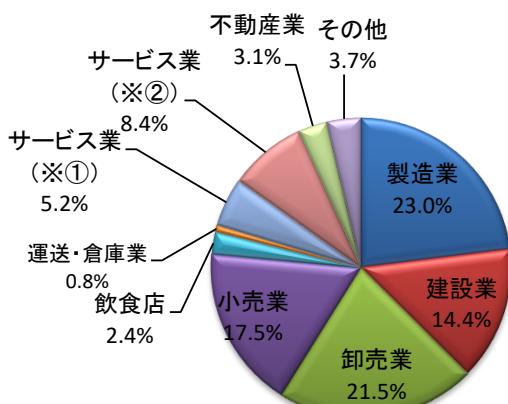
資本金をご記入ください。※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	53	13.9%
500万円以下	112	29.3%
1,000万円以下	132	34.6%
3,000万円以下	45	11.8%
3,000万円超	40	10.5%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	88	23.0%
建設業	55	14.4%
卸売業	82	21.5%
小売業	67	17.5%
飲食店	9	2.4%
運送・倉庫業	3	0.8%
サービス業(※①)	20	5.2%
サービス業(※②)	32	8.4%
不動産業	12	3.1%
その他	14	3.7%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

II. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1)当期(25年7~9月期)は、前期(25年4~6月期)に比べどのような状況ですか。
 (2)次期(25年10~12月期)は、当期(25年7~9月期)に比べどう思いますか。

【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	93	24.3%
変わらない	155	40.6%
減少した	134	35.1%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	121	31.7%
変わらないと思う	159	41.6%
減少すると思う	102	26.7%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%



【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	63	16.5%
変わらない	198	51.8%
悪化した	121	31.7%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%

次期

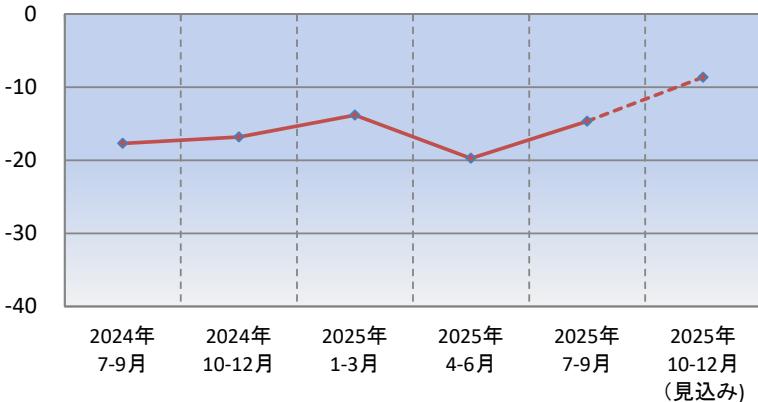
選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	89	23.3%
変わらないと思う	197	51.6%
悪化すると思う	96	25.1%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%



【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	35	9.2%
変わらない	256	67.0%
悪化した	91	23.8%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%



【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	27	7.1%
変わらない	295	77.2%
難しくなった	60	15.7%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%



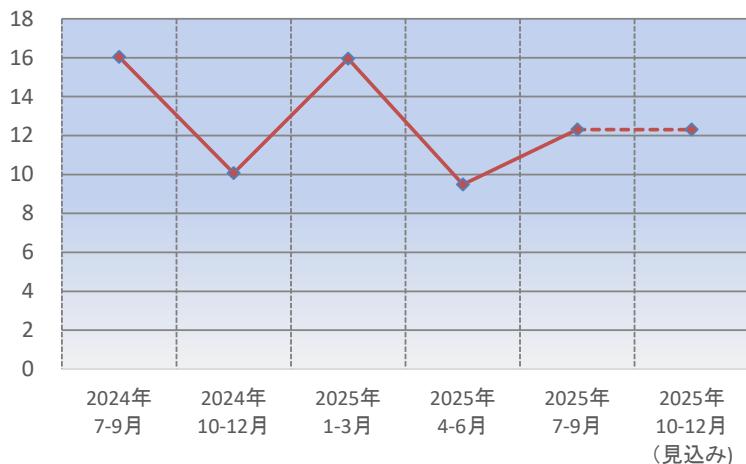
当期(7-9月)のDI値は、前期(4-6月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」全てにおいて改善しました。

次期(10-12月)のDI値は、当期(7-9月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」において改善し、「借入難易感」において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	73	19.1%
変わらないと思う	283	74.1%
弱まると思う	26	6.8%
無回答	0	0.0%
総計	382	100.0%



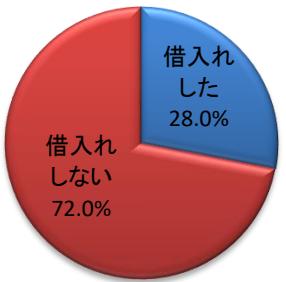
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

III.当期(25年7～9月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。

※手形の割引は含めません

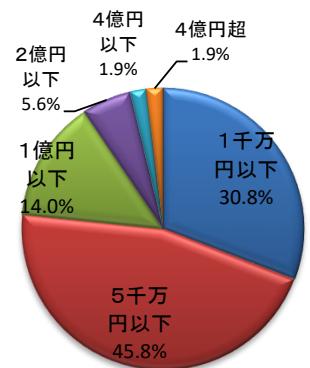
選択肢	25年7～9月期		25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期	24年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	107	28.0%	20.0%	24.9%	27.6%	24.8%
借入れしない	275	72.0%	80.0%	75.1%	72.4%	75.2%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	382	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入れは、前回調査と比べ、8.0ポイント増加しています。

当期に借入れした総額はいくらですか。

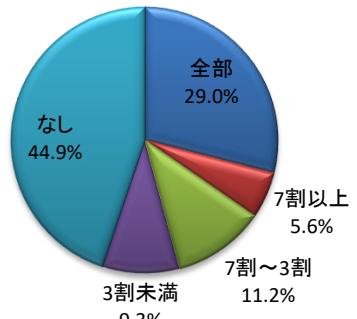
借入れ総額	25年7～9月期		25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期	24年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	33	30.8%	34.6%	35.9%	37.1%	29.7%
5千万円以下	49	45.8%	47.4%	43.5%	48.5%	47.5%
1億円以下	15	14.0%	11.5%	15.2%	8.2%	19.8%
2億円以下	6	5.6%	2.6%	0.0%	4.1%	1.0%
4億円以下	2	1.9%	2.6%	2.2%	1.0%	1.0%
4億円超	2	1.9%	0.0%	2.2%	1.0%	1.0%
無回答	0	0.0%	1.3%	1.1%	0.0%	0.0%
総計	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



当期の借入総額は、前回調査と比べ「1千万以下」が3.8ポイント減少し、「1億円以下」が2.5ポイント増加しています。

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

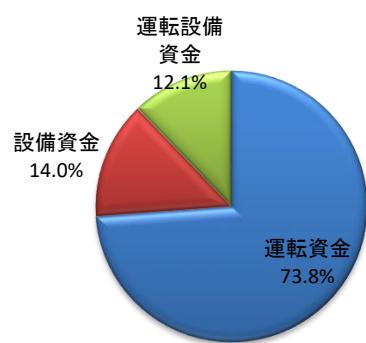
選択肢	25年7～9月期		25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期	24年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	31	29.0%	41.0%	34.8%	39.2%	33.7%
7割以上	6	5.6%	6.4%	9.8%	6.2%	5.9%
7割～3割	12	11.2%	10.3%	6.5%	9.3%	9.9%
3割未満	10	9.3%	3.8%	5.4%	3.1%	5.9%
なし	48	44.9%	37.2%	42.4%	42.3%	44.6%
無回答	0	0.0%	1.3%	1.1%	0.0%	0.0%
総計	107	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が12.0ポイント減少しています。

当期借入金の目的は何ですか。

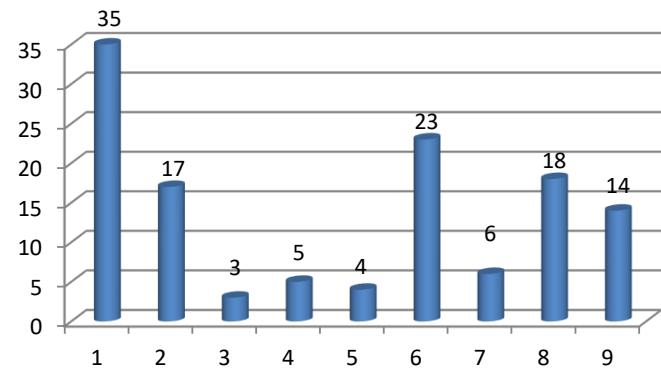
選択肢	回答数	構成比
運転資金	79	73.8%
設備資金	15	14.0%
運転設備資金	13	12.1%
無回答	0	0.0%
総計	107	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

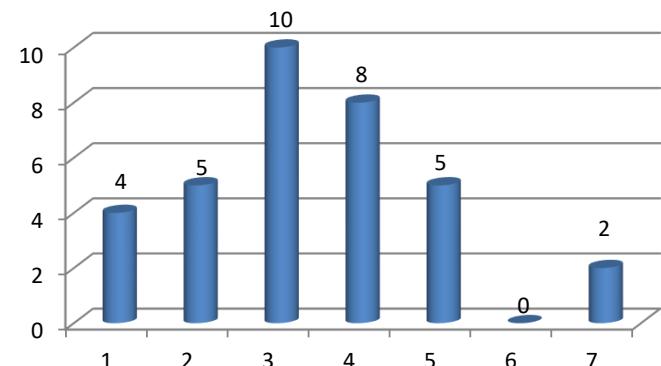
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	35
2 売上減少・赤字補填	17
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	5
5 回収条件悪化対応	4
6 売上増加運転資金	23
7 在庫積み増し	6
8 季節運転資金	18
9 その他	14
総計	125



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

選択肢	回答数
1 新規事業	4
2 生産增强	5
3 合理化・効率化	10
4 設備老朽化に伴う入替	8
5 修理・修繕	5
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	2
総計	34



設備資金の種類は、「合理化・効率化」が最も多く、次いで「設備老朽化に伴う入替」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(25年9月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

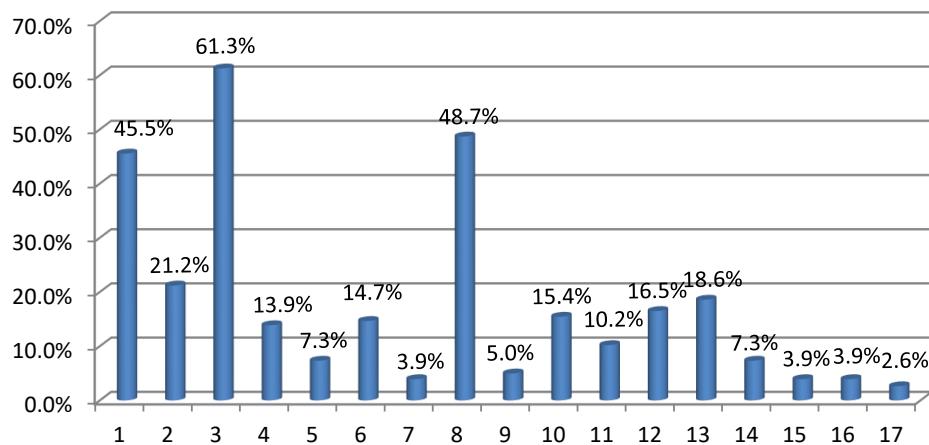
選択肢	25年7～9月期		25年4～6月期	25年1～3月期	24年10～12月期	24年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	65	17.0%	18.5%	20.3%	21.4%	16.2%
7割以上	67	17.5%	19.2%	19.2%	23.4%	23.1%
7割～3割	122	31.9%	29.0%	30.4%	29.9%	32.4%
3割未満	86	22.5%	25.1%	22.5%	16.0%	18.4%
なし	42	11.0%	8.2%	7.6%	9.4%	9.8%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	382	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「3割未満」とする回答が減少し、「7割～3割」「なし」とする回答が増加しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	174	45.5%	9 過剰在庫	19	5.0%
2 競争激化	81	21.2%	10 設備投資	59	15.4%
3 コスト高	234	61.3%	11 後継者難	39	10.2%
4 業界構造変化	53	13.9%	12 資金調達	63	16.5%
5 取引条件の悪化	28	7.3%	13 借入過多	71	18.6%
6 消費者ニーズの多様化	56	14.7%	14 為替	28	7.3%
7 技術・商品開発	15	3.9%	15 海外景気の減速	15	3.9%
8 人材・労働力の確保	186	48.7%	16 米国関税措置の影響	15	3.9%
			17 その他	10	2.6%



経営上の課題については、「コスト高」「人材・労働力の確保」「売上・受注の減少」が群を抜いて上位となっており、次いで、「競争激化」「借入過多」「資金調達」の順となっています。